

## 第3期小金井市保健福祉総合計画（障害者福祉計画）に対する意見・要望

2023年12月19日

日本共産党小金井市議団

日本共産党小金井市議団を代表し、障害者福祉計画について意見を述べます。

今年（昨年）12月14日、国会内で障害者福祉分野と介護分野の団体が共同声明を発表しました。障害者団体からは、「障害分野も介護分野も破綻、そして崩壊の状況に入っている。その崩壊も、事業者だけでなく、家族が介護離職に追い込まれる、当事者の生活が成り立たないなど、崩壊の連鎖につながる」、別の団体からは、当事者そして事業所の現場が深刻な状況にあることが報告され、「支援者不足により、障害のある人の食事や入浴、寝返り介助まで削減せざるをえない、大変な状況を招いている。制度の持続可能性と言われるが、これでは障害のある人も事業所も持続できない状況になる」と訴えています。

私たち日本共産党は、国会でもこうした声を取り上げ、障害者の方々の介護サービスが十分に受けられるように全力をあげています。小金井市も国に対して、介護職者の賃金を一般並に引き上げること、介護報酬の抜本的な見直しと国の補助金の引き上げを要求していくよう強く求めます。

また、昨年（一昨年）障害者権利条約の初の国連障害者権利委員会の日本審査が行われ、「総括所見」では、日本の障害福祉法制等について人権保障の立場から厳しい勧告がなされました。「総括所見」が特に焦点を当てたのが、国際的に大きく立ち遅れている精神科医療です。強制的扱いを正当化する法的規制、無期限入院の廃止、入院している全てのケースの見直しを日本政府に要請しました。こうした国際的な視点も含め、小金井市としても障害者権利条約がしっかりと生かされる障害者施策を前進させていただくように求めます。

厚生文教委員会で障害者支援施設の建設を求める陳情書が全会派一致で採択され、計画に盛り込まれたことは前進です。市においては速やかに建設に向けた準備を行なっていただくよう求めます。委員長が述べられた意見・要望の他、他の課題について意見・要望を述べます。他の議員の意見に賛同する点もあります。ここでは日本共産党としてその他の課題について次のことを求めます。

### 【1】基本目標3 障がいのある人が安心してくらししていくための仕組みづくり

#### P130 基本施策（1）居宅生活支援

「3 移動支援事業」について、通勤・通学、通所などに対応できるように改善すること。そのため「継続」ではなく「充実」と記載すること

### 【2】P132 基本施策（2）社会参加や就労の促進

「8 中間的就労の場づくりの検討」就労継続 A、B について「継続」となっているが、卒業後の就労の場の確保は急務であり、就労場所を増やすべきである。「継続」ではなく「充実」とするべきである

### 【3】p141 基本施策（6）サービス利用に結びついていない人への支援

手帳を持っていない支援が必要な人、引きこもりの若者や市民が相談できる窓口や支援センターを設置すること

### 【4】P151 基本目標4 誰もが気持ちよく共に暮らせる環境づくり

#### 2 第7期障害福祉計画及び第3期障害児福祉計画における数値目標設定について

- ① 全体として見込み量が減っている事業もある。少ない数字を掲げて、サービスが受けられないと言わないように目標は適切に増やすなど修正すること。
- ② 計画年度内で地域生活支援拠点サービスセンターにおいてコーディネーターを配置すること、
- ③ 強度行動障害の支援体制を計画年度中に確立させること

以上

※ページ数は、障害者福祉計画のページ。